

事件の概要

岡崎市中央図書館のホームページに**集中アクセス**して他の人が閲覧することを困難にしたという容疑で、**逮捕・拘留**された人がいたという事件があった。

彼は図書館の新着図書情報を**自動収集**するために**自作のプログラム**を作った。

図書館は頻繁に**サーバーダウン**するので、システム管理会社に相談したが、解決できなかったので、**警察に被害届**を出したところ、このような事件になった。

「岡崎市も図書館システムをめぐる事件について」を参照
<https://www.jla.or.jp/portals/o/html/jiyu/okazaki201103.html>

何が問題となったか

- ・図書館側のITに関する**知識の欠如**
- ・客観的に物事を見ずに、言われたことを鵜呑みにした
- ・図書館側が**インターネットの客を軽視**して、ちゃんとした段階を踏まずに警察に通報した

「岡崎市立図書館Librahack事件から見てきたこと」を参照

<http://www.nal-lib.jp/events/reikai/2010/277report.html>

教訓・残された課題

- ・ITに関する知識をもっと持つべき
- ・未知のものに遭遇しても落ち着いて対処すべき